微分方程式 第4回レポート課題と解答

出題日:2018/10/15(月)

担当教員:江夏洋一(A208 教室, 17:10-18:50)

- 1. 次の問いに答えよ. ただし, $'=\frac{d}{dt}$ である.
- (1) 次の微分方程式の平衡状態(あるいは平衡点)を求めよ. ただし, K>0 である.

(i)
$$x' = x + 5$$
 (ii) $x' = x - 2x^3$ (iii) $x' = x \left(1 - \frac{x}{K}\right)$

解答 (概要). (i) $\overline{x}+5=0 \iff \overline{x}=-5$ より,微分方程式 x'=x+5 の平衡状態は x=-5 のみである. · · · (答) (ii) $\overline{x}-2\overline{x}^3=0 \iff \overline{x}(1-2\overline{x}^2)=0 \iff \overline{x}=0, \frac{1}{\sqrt{2}}, -\frac{1}{\sqrt{2}}$ より,微分方程式 $x'=x-2x^3$ の平衡状態は $x = 0, \ x = \frac{1}{\sqrt{2}}, \ x = -\frac{1}{\sqrt{2}} \left($ あるいは $x = 0, \ x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}} \right)$ の 3 つである.

- (iii) $\overline{x}(1-\frac{\overline{x}}{K})=0 \iff \overline{x}=0,K$ より、微分方程式 $x'=x(1-\frac{x}{K})$ の平衡状態は $x=0,\ x=K$ の 2 つである. \cdots (答)
- (2) 次の初期値問題:

$$\begin{cases} x' = x \left(1 - \frac{x}{K} \right), \\ x(0) = x_0 \end{cases}$$
 (*)

の解 x = x(t) における $t \to +\infty$ の極限を初期値 x_0 の場合分けにより求めよ. ただし, $x_0 \ge 0$ である.

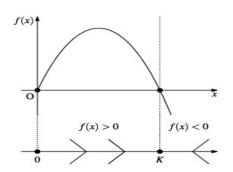
解答. はじめに、微分方程式 $x'=x\left(1-\frac{x}{K}\right)$ の平衡状態は $x=0,\ x=K$ であることから、以下のことが成り立つ.

(i)
$$x_0=0 \implies x(t)\equiv 0 \ (t\geq 0)$$
 が成り立つことから、 $\lim_{t\to +\infty}x(t)=0$ である

$$(ii)_{=K} x_0 = K \implies x(t) \equiv K \ (t \ge 0)$$
 が成り立つことから、 $\lim_{t \to \infty} x(t) = K$ である.

 $(i) \ x_0 = 0 \implies x(t) \equiv 0 \ (t \geq 0) \ が成り立つことから、 \lim_{t \to +\infty} x(t) = 0 \ である.$ $(ii)_{=K} \ x_0 = K \implies x(t) \equiv K \ (t \geq 0) \ が成り立つことから、 \lim_{t \to +\infty} x(t) = K \ である.$ また、 $f(x) = x \left(1 - \frac{x}{K}\right)$ とおくと、 微分方程式 x' = f(x) に現れる関数 f(x) の符号について、以下のことが成り立つ.

$$(\mathrm{ii})_{<\mathrm{K}} \ 0 \leq x < K \implies f(x) > 0 \ (\text{thib}, \ \underline{x}' > \underline{0}) \quad (\mathrm{ii})_{>\mathrm{K}} \ x > K \implies f(x) < 0 \ (\text{thib}, \ \underline{x}' < \underline{0})$$



ここで、初期値問題 (*) の解 x=x(t) における $t\to +\infty$ の極限について、 $0\leq x_0< K$ ならば、x(t) は増加傾向にあり、 $x_0 > K$ ならば、x(t) は減少傾向にある. 以上より、次のことが成り立つ.

$$(ii)_{<\mathcal{K}} \ 0 \le x_0 < K \implies \lim_{t \to +\infty} x(t) = K \qquad (ii)_{>\mathcal{K}} \ x_0 > K \implies \lim_{t \to +\infty} x(t) = K$$

したがって、(i) および $(ii)_{=K}$, $(ii)_{>K}$ より、初期値 x_0 の場合分けによる解 x の極限は次の通りにまとめられる.

(i)
$$x_0 = 0 \implies \lim_{t \to +\infty} x(t) = 0$$
 (ii) $x_0 > 0 \implies \lim_{t \to +\infty} x(t) = K$ ··· (答)

(3) 微分方程式 $x' = x \left(1 - \frac{x}{K}\right)$ の安定な平衡状態および不安定な平衡状態をそれぞれ求めよ.

解答. $f(x)=xigg(1-rac{x}{K}igg)$ とおくと, $f(x)=x-rac{x^2}{K}$ より, $rac{df(x)}{dx}=1-rac{2x}{K}$ である.さらに,微分方程式 x'=f(x) の

平衡状態 $x=0,\;x=K$ における関数 f(x) の微分係数 $\frac{df(x)}{dx}|_{x=0},\;\frac{df(x)}{dx}|_{x=K}$ の符号にそれぞれ着目すると,

(a)
$$\frac{df(x)}{dx}\Big|_{x=0} = 1 - \frac{2 \cdot 0}{K} = 1 > 0$$
 (b) $\frac{df(x)}{dx}\Big|_{x=K} = 1 - \frac{2 \cdot K}{K} = -1 < 0$

となることから、2 つの平衡状態 x = 0, x = K の安定性は以下の通りにまとめられる.

(a) 平衡状態 x=0 は不安定な平衡状態である. (b) 平衡状態 x=K は安定な平衡状態である. (答)